

## 日精工業 (株) 環境行動計画

### 取 組 方 針

日精工業株式会社は、当社の経営理念である『顧客満足の追求・社員活力の尊重・社会性の重視』をモットーに、顧客ニーズにあった建設工事業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、地球環境への貢献が重要課題の一つであることを認識し、人と地球に優しい企業の在り方を常に求め、生活環境と自然の調和を大切に考えながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年4月25日

日精工業 株式会社

代表取締役 得田 了生

### 3. 環境負荷低減目標及び具体的な取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、目標及び具体的な取組項目を設定して取り組むこととします。設定した取組目標と具体的な取組項目は、以下のとおりです。(基準年度はいずれも 22 年度)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）を 24 年度までに 2%削減する。

#### 【具体的な取組】

##### (事務所での取組)

- ① 室内温度を冷房 28 度と暖房 22 度を目安に設定する。
- ② 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③ 蛍光灯の本数を減らし、照明器具の省エネ化を図る。
- ④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ⑤ グリーンカーテン、カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。
- ⑥ エアコンの使用期間中は、毎月 1 回フィルターを清掃する。

##### (車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。(停車時のアイドリングストップ、ふんわりアクセルに心がける)
- ⑤ エコカー（低燃費・低公害車）の購入を推進する。
- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【目標 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減に努める。

なお、一般廃棄物の排出量については、今後測定する。

#### 【具体的な取組】

- ① 廃棄物は、決められたごみ箱に分別して出す。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 仕入れ・納入にはできるだけエコ包装の物を使用する
- ④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑦ 紙のリサイクルに努める。
- ⑧ ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める。
- ⑨ 製品をできるだけ長期間使用する。

【目標3】コピー用紙の使用量を24年度までに2%削減する。

【具体的な取組】

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、data化、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ④ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑤ コピーをする場合は、その必要性を十分吟味する。

【取組4】水道の使用量を24年度までに1%削減する。

【具体的な取組】

- ① 節水に努める。
- ② 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ③ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。

4. 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行し、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。